

1 事業名

平成26年度教育事業「体験の風をおこそう」運動協賛事業
集団の力を高めるアドベンチャープログラム体験会

2 趣旨(事業の目的)

PA(プロジェクトアドベンチャー)の手法を生かしたプログラムの体験をととして、集団の力や個人の自己成長力を高めるための指導理念・方法を取得し、指導者・支援者としての知識や技能、資質の向上を図る。

3 期日

平成26年5月10日(土)～11日(日) 1泊2日

4 参加者

教職員, 青少年教育施設職員, 青少年教育に興味・関心のある方 15名

5 連携・協力

株式会社 プロジェクトアドベンチャージャパン

6 内容

(1) 日程

5月10日(土)

9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	17:00	17:30	20:00	21:30	22:00
受付	開会行事	【アクティビティ 実習】 ・参加者自己紹介 ・アイスブレイク	屋食・休憩	【プログラム実習】 ・プログラムの講義 ・プログラムの体験	ベッドメイキング	夕食 入浴	講義 情報交換会	就寝	

5月11日(日)

6:30	7:00	7:30	9:00	12:00	13:00	14:30	15:10	15:30
起床	朝のつどい	朝食	退所点検	【プログラム実習】 ・プログラムの体験	屋食・休憩	【プログラム実習】 ・グループの学び合い ・シェアリング	閉会行事	解散

(2) 指導者

- ・株式会社プロジェクトアドベンチャージャパン
- ・国立岩手山青少年交流の家
- ・国立岩手山青少年交流の家
- ・国立岩手山青少年交流の家

- トレーナー
- 企画指導専門職
- 企画指導専門職
- 事業推進係長

- 門田 卓史 氏
- 高橋 省一
- 中村 和宏
- 田口 康宏

(3) 企画のポイント

事業の目的を達成させることともに、地域にプロジェクトアドベンチャーの理念を広げるきっかけづくりをめざした。そのため、アドベンチャープログラムの体験を中心として日程を組み、初めて体験する方にも無理なく理念が伝わるようにした。

(4) 広報のポイント

県内の青少年宿泊研修施設・盛岡市内やその近郊の小中学校・今年度当施設を利用する学校等にチラシを配布するとともに、本施設のホームページを活用し、事業の周知を行った。

(5) 運営のポイント

体験を中心としながらも、プロジェクトアドベンチャーの理念が参加者に伝わるように、講義も織り交ぜた日程で運営にあたった。

参加者自身が、グループの高まりや個人の学びを実感できるように、参加者15名が一つのグループとして様々なプログラムを体験するようにした。

7 成果とその普及

アンケート調査による総合的な満足度は100%であった。体験することを中心にしたことで充実感を味わうことができたと思われる。「グループで一つの目標に向かって活動していく中で、自分の内面的な感情や思いに気づくことができた」「個の成長と集団の成長の密接な関係を体験をとおして実感することができた」「達成に向けて試行錯誤していくのがとても楽しく感じられた」といった感想が寄せられた。

「最初に意義の説明があり、体験するということで、内容が理解しやすい体験会であった」といった感想のとおり、講師には、講義や、各体験プログラムの意義などの説明もしていただいたことで、プロジェクトアドベンチャーの基本的な考え方や指導理念等への理解も深まった。

企画の概要・報告書等は、ホームページへの掲載や館内への写真掲示による紹介をとおして、幅広く普及に努めたい。

8 今後の課題

本事業の趣旨である「指導者・支援者としての知識や技能、資質の向上を図ること」の達成や、地域にプロジェクトアドベンチャーの理念を広げるためには、広報の工夫も必要である。本事業の開催の広報のみならず、アドベンチャープログラムの効果・有効性についても広くアピールする方法を考えたい。



「ニトロクロッシング」に
全員で挑戦



プログラムの趣旨、意義につ
いての説明



2日間、共に過ごした仲間と集
合写真